

国立スポーツ科学センター（JISS） オプトアウトにより実施する研究

研究課題名	HPSCパッケージ「映像・情報技術分野」は「質」と「量」の行動変容を起こすか？ ：「撮る側」と「見る側」の視点から
倫理審査委員会承認番号	2026-028
研究開始日	2026年10月9日
研究終了日	2029年3月31日
研究目的	事業協力者（サポート・スペシャリスト）が実施するHPSCパッケージを用いた映像・情報技術サポートに伴うアスリートおよびサポート・スペシャリストの行動変容を行動の「量」（頻度や本数など）と「質」（映像を活用したフィードバックの精度など）から評価することとしています。
研究対象者	アスリートおよび映像・情報技術分野におけるサポート・スペシャリスト
研究概要	<p>ネットワーク事業では、JISSで培ったノウハウを「HPSCパッケージ」としてまとめ、地域のサポート・スペシャリストに提供しています。しかし、地域のサポート現場では映像・情報技術の活用に関する問題が存在しており、パッケージによってこれらを解決できるかは明らかになっていません。</p> <p>そこで本研究では、サポート・スペシャリストがHPSCパッケージを用いて行う映像・情報技術サポートにより、アスリートとサポート・スペシャリスト双方に行動変容が生じ、設定した課題を達成できるという仮説を検証します。研究はアクションリサーチに基づき、サポート・スペシャリスト、アスリート、研究者の3者が協働して現場の問題を抽出します。半年～1年の間に年4回の調査（各3日間）を実施し、サポート・スペシャリストを「撮る」側、アスリートを「見る」側と位置づけ、アンケートやインタビュー、映像の本数、フィードバック時間等を通じて行動の「質」と「量」の変化を評価し、HPSCパッケージの効果を検証します。</p>
研究に用いる試料・情報の種類	<ul style="list-style-type: none"> ・映像データ ・インタビュー音声 ・フィードバック音声 ・アンケート（行動変容に関わるアンケートおよびVASにより評価した主観的指標）
研究の資金源	JISS内予算（事業名：HPSCネットワークを通じた医・科学、情報サポートの展開事業）
研究に係る利益相反及び個人の収益	本研究に係る利益相反や個人の収益はありません。
研究責任者	小島 千尋・連携・協働推進部/スポーツ科学研究部門
共同研究者	宮崎 大地・連携・協働推進部 稲川 祥史・連携・協働推進部 吉田 知史・連携・協働推進部 山本 悠介・デジタル推進室 尾崎 宏樹・スポーツ科学研究部門
問合せ先	所属：ハイパフォーマンススポーツセンター 連携・協働推進部 国立スポーツ科学センター スポーツ科学研究部門 職名：研究員 氏名：小島 千尋（こじま ちひろ） 電話番号：03-5963-0253 E-mail：chihiro.kojima@jpnsport.go.jp